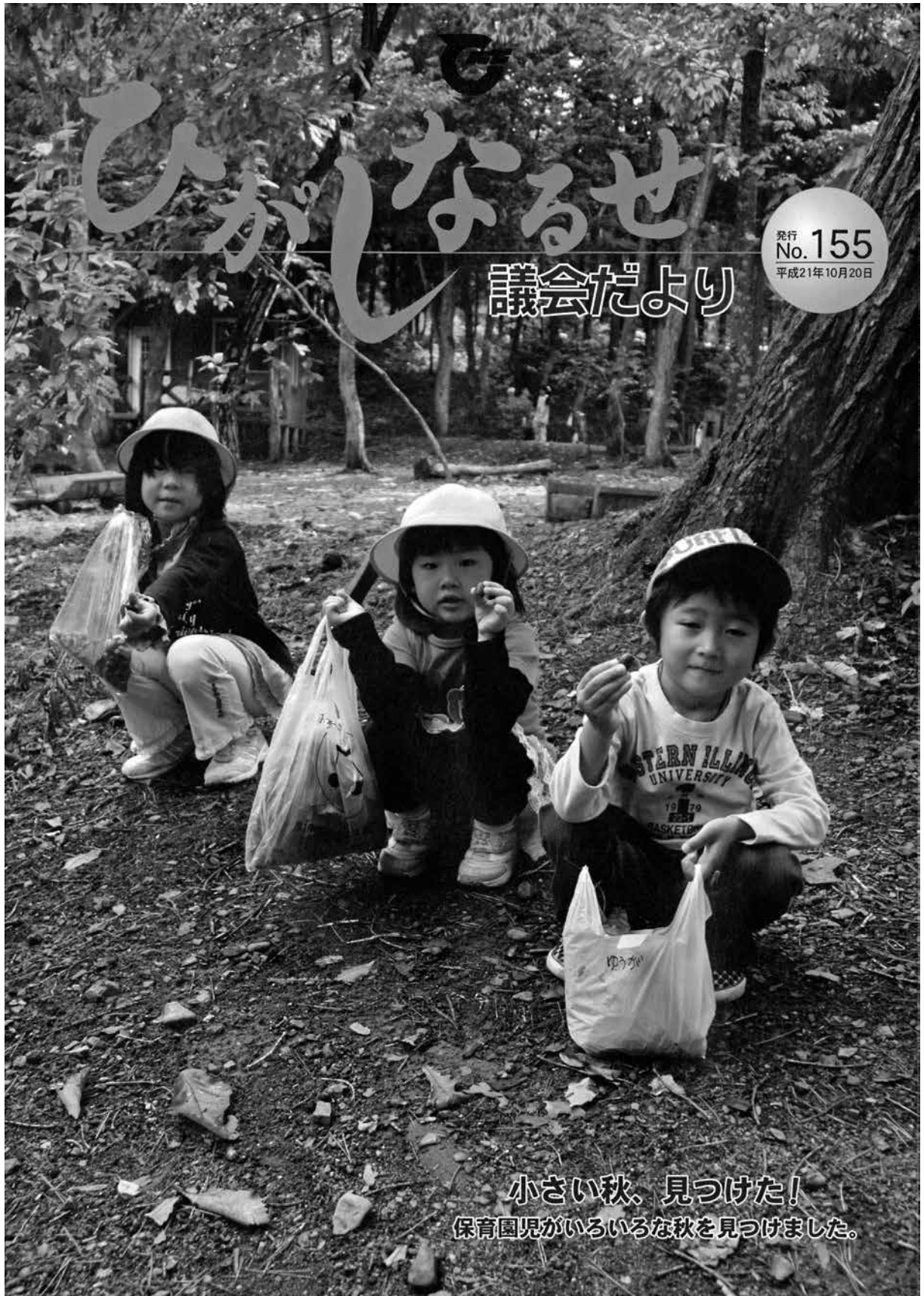


# ひがしなるせ

## 議会だより

発行  
No. 155  
平成21年10月20日



小さい秋、見つけた！  
保育園児がいろいろな秋を見つけました。

9月10日から17日までの会期で定例会が開かれ、平成21年度の各会計補正予算並びに条例の改正などの議案が提出された。会期の最終日には、議員発議による国の機関などへの意見書案が提出され、これらすべての議案は全会一致で原案可決・同意された。

# 9月定例会



村民スポーツ月間2009「ベタンク大会」

## 国民健康保険条例の一部を改正

出産育児一時金の額が次のとおり改正された。これは平成二十一年十月から平成二十三年三月までの間の出産に適用される。

改正前 三十八万円 ↓ 改正後 四十二万円(※)

(※産科医療補償制度加入分娩機関で出産した場合の支給額。未加入分娩機関で出産した場合は三十九万円。)

## 教育委員会委員の任命に同意

任期満了による教育委員会委員一名について、次のとおり任命することに満場一致で「同意」した。



鈴木 一夫 氏  
58歳  
田子内字天神林  
【新任】

## 成瀬ダム用地の財産処分

◆土地(椿川字白岩小沢七番地一のうち)

一 二万六、八四〇・〇八㎡

二 二万二、〇三〇本

◆処分予定価格 一億三、九二二万三、八一九円

◆処分の方法 随意契約

◆契約の相手方

国土交通省東北地方整備局  
湯沢河川国道事務所長 浜 本 聡

# 林道狙半内上沼線舗装工事費2,220万円など 1億3,410万8,000円追加の一般会計補正予算を可決

## 議 決 事 項

|  |
|--|
| 平成20年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告 (5ページに関連記事掲載)         |
| 東成瀬村国民健康保険条例の一部を改正する条例 (2ページに関連記事掲載)                 |
| 東成瀬村教育委員会委員の任命 (2ページに関連記事掲載)                         |
| 平成21年度一般会計補正予算(第3号)<br>(1億3,410万8,000円 追加)           |
| 平成21年度国保特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)<br>(914万3,000円 追加)       |
| 平成21年度国保特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号)<br>(170万3,000円 追加)   |
| 平成21年度老人保健特別会計補正予算(第1号)<br>(49万4,000円 追加)            |
| 平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)<br>(46万2,000円 追加)         |
| 平成21年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)<br>(1,420万2,000円 追加) |
| 平成21年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)<br>(123万7,000円 追加)         |
| 平成21年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)<br>(210万7,000円 追加)          |
| 平成20年度一般会計歳入歳出決算認定                                   |
| 平成20年度国保特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定                           |
| 平成20年度国保特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算認定                       |
| 平成20年度老人保健特別会計歳入歳出決算認定                               |
| 平成20年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定                            |
| 平成20年度介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定                       |
| 平成20年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算認定                   |
| 平成20年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定                             |
| 平成20年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定                              |

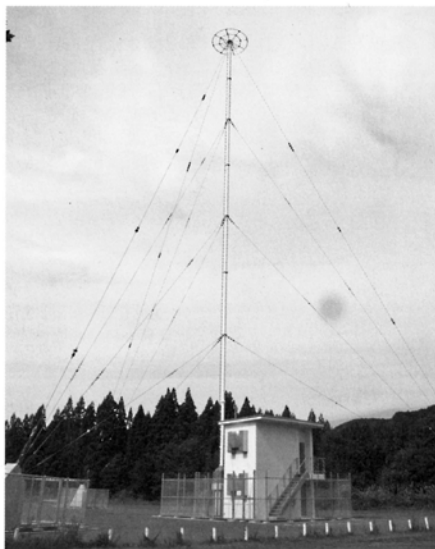
## 一般会計補正予算の主なもの

### 【歳入】

- ◎地方交付税増・・・・・・・・・・・・・・・・・・5,644万円
- ◎小中学校へのデジタルテレビ等購入費補助金・519万円
- ◎安心・安全な学校づくり交付金・・・・・・・・100万円
- ◎理科教育設備整備費補助金・・・・・・・・112万円
- ◎林道改良統合補助事業補助金・・・・・・・・1,320万円
- ◎20年度繰越金増・・・・・・・・・・・・・・・・2,531万円
- ◎過疎対策事業債増・・・・・・・・・・・・・・1,850万円
- ◎一般公共事業債・・・・・・・・・・・・・・1,080万円

### 【歳出】

- ◎旧大柳小耐震設計業務委託料・・・・・・・・189万円
- ◎ラジオ中継放送所A B S接続工事費・・・・420万円
- ◎光ケーブル設置費用・・・・・・・・・・・・285万円
- ◎林道狙半内上沼線舗装工事費・・・・・・・・2,220万円
- ◎林道改良舗装測量設計委託料等・・・・・・349万円
- ◎消防用ポンプ購入費・・・・・・・・・・・・157万円
- ◎小中学校デジタルテレビ等設置費用・・・・1,000万円
- ◎理科設備備品購入費・・・・・・・・・・・・230万円
- ◎村民体育館備品購入費・・・・・・・・・・・・1,800万円
- ◎財政調整基金積立金追加・・・・・・・・・・6,000万円
- ◎予備費追加・・・・・・・・・・・・・・・・・477万円



まもなく放送を開始するラジオ中継放送所

# 一般質問



佐々木 健 夫 議員

## 政権交代に対する村長の所見を伺う

### 村長／肅々と進めていく

**問** 五十五年体制と言われ、昭和三十年から五十五年間政権与党としての自由民主党から八月二十日の衆議院総選挙で民主党政権に交代したことは画期的なことである。

従来から、国の政策は政権与党の指揮により、予算をいただくことや事業の認可などで、そこには国と地方自治体に主従関係が生じている。まして政権交代は当然政策も変わり、県、地方自治体にもいろいろなことが懸念されている。特に、公共事業、天下りの見直しや廃止、また子ども手当など数字を明示したこれら政権公約に対する村長の所見は如何か。

**村長** 政権交代したことは、マニフェストなどを見ると相当細やかな内容になっており、大きな変革があるだろう。五十五年体制でやってきた制度でも良い制度は残していくだろうし、百八十度変わるこ

とはないと思う。課題の大きい公共事業や子ども手当、高速道路の無料化などは相当な変化が予想されるが、まだ具体的なものが見えてこない所以对応することが出来ない。新政権になっても、これまでと同じように肅々と進めていく姿勢である。

### タムの見直し、廃止について

**問** 民主党のマニフェストでは、群馬県ハツ場タムと熊本県川辺川タムの建設見直しや廃止を明示しているが、成瀬タム建設についても地元首長として大いに気になるところだと思つので、村長の考えを伺う。

**村長** 成瀬タム建設については、川をまわす転流工事という本体工事に着手することには大きなポイントを超えたと考ええる。事業年度は遅れるかもしれないが努力して

まいりたい。

### 議会答弁に対する執行について

**問** 八月の仙人修行の新聞報道の「イベントの役場主導を見直さなければならぬ時期にきている」という村長のコメントを見て、今さらと違和感を持った。イベントの主導を民間移行すべきことは議会でも数年前から複数回発言している。これら議会において検討あるいは努力したいと答弁したことに対して執行機関としての責務があると思うが、これに対する考えを伺う。

**村長** イベントについては、これまで全体の見直しをしているし、仙人修行については、今回、観光業者が参加して輸送等を担当している。今後は、募集等についても観光エージェントが参画してやっていく方法もあると考えるし、民



今年で26回目となる恒例のイベント「仙人修行」

間の方が主導、参加するように努めた。

(文責は質問議員)

## ■平成20年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率の報告■

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成20年度決算における東成瀬村の財政の健全化判断比率及び資金不足比率が9月定例会に次のとおり報告された。

| 指標名      | 東成瀬村の数値(%) | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|------------|---------|--------|
| 実質赤字比率   | (赤字なし)     | 15.0    | 20.0   |
| 連結実質赤字比率 | (赤字なし)     | 20.0    | 40.0   |
| 実質公債費比率  | 19.8       | 25.0    | 35.0   |
| 将来負担比率   | 37.5       | 350.0   | —      |

| 指標名    | 会計名    | 東成瀬村の数値(%) | 経営健全化基準 |
|--------|--------|------------|---------|
| 資金不足比率 | 簡易水道事業 | (赤字なし)     | 20.0    |
|        | 下水道事業  | (赤字なし)     | 20.0    |

それぞれの指標には基準が設けられ、「健全段階」、「再生の早期健全化（自主的努力による財政の健全化段階）」、「財政の再生（国等の関与による財政の再生段階）」の3段階に区分されるが、平成20年度決算において東成瀬村の財政は「健全段階」に位置付けられる。

## ■議案等の不備に対する事務改善を申し入れ

最近、提出された議案や資料等に誤りが多く、特に9月定例会では議案2件について上程後「事件撤回」という事態になった。事務的な誤りが度重なっていることを重視し、事務執行が適正に行われるよう議長長で村長に対して申し入れをした。

### (申し入れ書の抜粋)

事務執行上の誤りが度重なれば、民間の経営体も含め社会通念ではその職責への姿勢について改善が厳しく求められ、猛省が促されるものである。「蟻の穴から堤も崩れる。小事は大事」とも言われる。こうした事務執行上の度重なる誤りが、先の村長の謝罪発言でも述べられた「大きな間違いのもとにならないようにするため」が肝要である。設置されたという「事務執行向上対策委員会」の機能も含め、実効ある、本来あるべき当然の正確な事務執行が今後確実にすすめられるよう、改めてここに強く注意と改善を促す意味で、以上、申し入れをする。

## ■議員倫理条例に基づく報告■

「政治倫理確立のための村議会議員の兼業に関する条例」の規定により、村長から次のとおり報告があったので公表する。

### ◎ジュネス2 塗装改修工事

#### ●請負人氏名

谷藤・佐々木特定共同企業体  
谷藤塗装店 代表 谷藤孝次

#### ●関係議員氏名 谷藤怜子

#### ●請負契約等の内容 指名競争入札

#### ●契約金額 262万5,000円

#### ●発注期日 8月26日

#### ●完成期日 10月26日

#### ●請負人選定理由

湯沢市雄勝郡内の塗装業者のうち  
指名願提出業者



# 平成20年度 決算審査

一般会計・特別会計の決算を認定  
歳入総額54億405万円 歳出総額52億9,817万円



平成二十年度の一般会計と特別会計九件に関する歳入歳出決算について、議長と監査委員を除く八人の議員で構成する決算特別委員会（委員長・鈴木秋雄）を設置し、九月十四日と十五日の二日間にわたり審査が行われた。

その結果、委員会ではすべての決算を「認定すべき」として本会議に報告。本会議でも全会一致で認定することに決定した。

## 村税等の未納対策について

**問** 村税等の未納者数、未納額ともに毎年増えている。毎年、決算特別委員会において「努力する」という答弁をしているが、一向に改善されていない。具体的な収納率向上対策はどのように考えているのか。

**答** 税等の未納については県全体としても深刻な課題となっている。今後、全県的な徴収機構（仮称）を立ち上げ、県と市町村が一体となって収納率向上を図る体制を整える予定となっている。

## ペット霊園について

**問** 村が整備したペット霊園が、全く利用されていない。もっと利用されるよう対策を考えるべきではないか。

**答** 村のペット霊園の利用方法がほとんどの方がイメージされている霊園、墓地などとはかけ離れているため、問い合わせはあるものの利用まで至っていない現状である。

## 不妊治療助成について

**問** 毎年予算はあるものの利用されていない。少子化対策は村の将来に関わる重大な課題である。村内で不妊に悩む方がどのくらいいるのか把握しているか。また、この制度を利用していただけるようPRできないか。

**答** 様々な場面で保健師が相談を受けていると思うが、全てを把握できてはいない。村の制度は、県の制度に乗せして助成するものであるが、村内に県の制度を利用して治療している方がいないため、

実績がない状態である。胃ガン検診等とは違う性質のものであると思うので、積極的にPRすることは難しいと考える。

## 新型インフルエンザ対策について

**問** 新型インフルエンザは、秋から冬にかけて患者が増えてくると言われている。これに対する行動計画の中で新型インフルエンザの発生段階を五段階に区分されているが、現在、村はどの段階にあるのか。

**答** 村内で新型インフルエンザに感染した方はいないが、村も県の行動計画に合わせて対策をとっていることから、発生段階も県に合わせ「拡大期」になると認識している。

## 幸寿苑の指定管理について

**問** 幸寿苑の指定管理についての考え方や時期等について伺う。

**答** 職員等の関係もあり、ここ一、二年で指定管理に移行することは難しい。利用者や待機者等の動向を良く見ながら、検討していかなければならない課題である。

## ふる里館の活用について

**問** 郷土の文化を伝承するための施設として建設され、これまで小・中学校の授業に積極的に関わってきていたが、指定管理になってからあまり小・中学校の授業で活用されていないようだが。

**答** 講師の都合や指定管理者の都合もあり、最近の授業はまるごと自然館を活用する機会が多くなっている。

## ジュネス栗駒スキー場

### 利用助成について

**問** 年々この助成金を活用してスキー場の年間券を購入する児童生徒が少なくなっているようだ。スキーをする環境に恵まれているにもかかわらずこのような状況であるということについての考えは。

**答** 年間券を買ってまでスキーをする子どもが少なくなっていることは確かである。学校の授業では年二回スキー教室を実施している。

## 農業振興に対する

### 考え方について

**問** これまで補助金など様々な面で農家を支援してきたが、思

うように成果が上がっていない。村を一つの会社と考え、村長が社長として農業の方向性をはっきり打ち出すことが大切だと思うが。

**答** いくら行政で計画を立て方向性を示しても後継者の問題もあり、生活を保障することまで踏み込まなければ積極的に取り組める農家がなかなか出てこないのが現状である。若い世代が組織化して農地の集約化や協業化などにより農業で生活できるような形にしていかなければと考えているが、具体的な方向性については、関係機関と相談しながら模索しているところである。

## 公有林整備事業について

**問** これまで工事費に含んでいた苗木を経費を節減するため直接苗木業者から購入したということだが実質的にどれくらい経費節減できたのか。

**答** 杉の苗木は一本あたり一〇三円だったものが九〇円となっている。ブナについては一本あたり四四〇円から四〇〇円になっている。平成二十年度は杉を一万五千本、ブナを三千本購入しているので、かなりの経費節減となっている。

## 地方交付税について

**問** 普通交付税が増えている理由は何が。

**答** いわゆるリーマンブラザーズの経営破綻に伴う経済危機に対応するためということで、地域雇用創出推進費が追加され交付税算定に含まれたことによるものである。

## 新エネルギー

### ビジョンについて

**問** 新エネルギービジョン検討委員はどのような人を委嘱しているのか。

**答** 県立大学木材高度加工研究所長の他、雄勝地域振興局森づくり推進課長、雄勝広域森林組合支所長、商工会関係者、林業関係者、JAこまち営農センター長、社会教育委員、なるせ加工研究会長などに新エネルギー検討委員を委嘱している。

## 須川湖キャンプ場について

**問** 須川湖ソーラーシステム保守委託料と須川湖駐車場トイレ浄化槽保守点検委託が今回初めて決算書に載っているが、村で予算措置して設置した施設であったか。

**答** 両施設とも県が事業主体となって整備したもので、維持管理要綱に基づいて村がこの施設の維持管理を行うことにしているものである。昨年は事業実施期間中であつたため維持管理は発生しなかつた。



新エネルギーとして期待されている小水力発電



# 行政報告



## 全国学力テスト・今年も好結果

▼東成瀬中講師の逮捕の不幸事について深くお詫びする。  
▼事故なく夏休みが終了し、二学期に入る。休み中多くの小学生が東中プールを利用。  
▼夏期巡回ラジオ体操に村内外から一〇〇人が参加し大成功に終わる。村民に感謝する。

▼京都大学交響楽団演奏会が開催され、大好評であった。  
▼全国学力学習状況調査結果が発表される。本村は今年度も好結果を示す。今後とも一層

▼地域の学力向上に努めてまいりたい。  
▼地域学習教室（村塾）が始まる。  
▼村民体育館建設事業は年内完成目指し、順調に進行中。  
▼子どもの読書活動支援で職員配置される。村民の読書環境作りを図ってまいりたい。

▼統合保育園は、平成二十三年供用開始を目指し、複合施設として建設予定。設計に向けて検討を進めている。  
▼児童生徒各種大会で活躍。

▶光ファイバー整備事業は、11月下旬までに工事を終了する予定。インターネットへの接続サービス等は、来年1月以降となる見込み。  
▶岩井川地区に建設中のラジオ中継所（ABS）は、12月1日からの放送開始を予定。  
▶「ふるさと雇用再生特別基金事業」・「緊急雇用創出臨時対策基金事業」の4事業について、県より交付決定を受けて現在14名の新規被雇用者を確保して事業を進めている。  
▶新型インフルエンザ対策は、「感染発生期から感染拡大期に入った」ということから、集団発生を早期に探知する体制に切り替えた。  
▶今年の水稲は、「平年並み」の見込み。夏秋トマトを含み、他農産物も安定した販売単価を維持している。  
▶北部地区簡易水道事業関連工事の水道埋設の進捗状況は、約80%となっている。

ラジオ放送は、12月1日から開始

## 皆さんからの請願・陳情

9月定例会に提出された陳情は次のとおり決定した。

|   | 件名  | 審議結果 |
|---|---|------|
| 1 | 第9回湯沢雄勝農業者大会における「農業の確立と所得保障に関する決議」の実現を国に要望する陳情<br>第9回湯沢雄勝農業者大会 大会会長 大野 耕作 他1名 | 採 択  |
| 2 | 教育予算の拡充を求める意見書採択についての陳情<br>秋田県教職員組合 執行委員長 伊藤 正通 他1名                           | 採 択  |

〔上記の陳情については、国など各関係機関に意見書を送付した〕

6月定例会において継続審査とした陳情は次のとおり決定した。

|   | 件名  | 審議結果 |
|---|---|------|
| 1 | 日米地位協定に関わる「裁判権放棄の日米密約」の公表と廃棄を求めることを要請する陳情<br>秋田県平和委員会 理事長 風間 幸蔵 | 趣旨採択 |
| 2 | 農地法の「改正」に反対する陳情<br>農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤 長右衛門                       | 不採択  |



# 震災の復興は今・・・

## 国道342号災害復旧状況視察

9月29日、全議員が参加して、「岩手・宮城内陸地震」により甚大な被害を受け、通行止めとなっている国道342号の災害復旧工事状況の視察を行った。

岩手県東南広域振興局一関総合支局災害復旧課長から全体的な工事進捗状況の説明を受け、実際に現地で工事状況を見せていただいた。

順調に復旧工事は進んでいたが、随所に残る地震の爪跡に自然の恐ろしさを再認識した。

来年6月頃には開通できる見込みであるという説明に安心するとともに、工事の安全を願うものである。



復旧状況全体の概要説明（一関総合支局）



保存が決まった祭時大橋



地震直後の姿を残す被災箇所



完成した仮橋。工事関係車両が絶え間なく通行していた。



道路の形が全くなくなった箇所も順調に復旧している。



## オレンジ色で彩られた「成瀬路」

小・中学生が春に蒔いたキバナコスモスが  
今年の秋も人々の心を癒してくれます。

四季の ONE  
SHOT

# 私もひとこと



手倉

菊地 太郎さん

(東成瀬中学校3年)

「今日も僕は」

「今日は何釣れた？」何げない地域の方からの一言。友達に誘われて、しぶしぶ出かけた釣りで、思いがけず温かい言葉をもらったことが僕を釣り好きに変えていった。

魚が掛かったときの引きの手応え。小さな命との真剣なかけひき。美しく輝く一匹を釣り上げた時の何とも言えない感動。僕は、どんな釣りにはまっていた。

中学3年生といえ、受験が目の前にあり勉強一色にならなくてはいけないのだが、なかなか取りかかれない。やらなくてはとあせりながらも別のことを考えてしまう。

そんな時、僕は東成瀬の美しい山と川と、魚たちとの闘いを思う。そして、釣り仲間の地域の方々のことを思い、居てもたってもいられなくなる。「逃げてるわけじゃない」と言いながら、釣り竿を持ってしまう。

僕は東成瀬が大好きだ。ここに生まれた幸せをかみしめ、僕は今日も釣りに行く。

## 編集室

▼今年の夏は梅雨明け宣言がされないまま終わりを告げた。  
▼日照不足や長雨等、農作物への影響が大変心配されたが、なんとか平年並みの実りの秋を迎えることが出来た。農家にとっては、ホッと胸をなでおろしたことであろう。  
▼8月。日本列島は大きく揺れた。それは長きに渡って続いた政権が交代したことである。  
▼今、予算の執行停止や今までの政策が見直される等、マニフェスト実行とは言え、国民にはとまどいも多い。時計の針を止めるような施策だけは行わないよう願いたい。  
▼春夏秋冬。時はいつもどおり巡り来る。冬支度等これから大変忙しくなる。  
▼新型インフルエンザも猛威をふるっている。自己防衛に気をつけ、まずは、お互い元気で！

(委員・佐々木謙吉)

■発行/東成瀬村議会 ■編集/議会広報対策特別委員会  
〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1  
TEL.0182-47-3411 FAX.0182-47-3117  
E-mail:gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

■印刷/株式会社増田印刷所